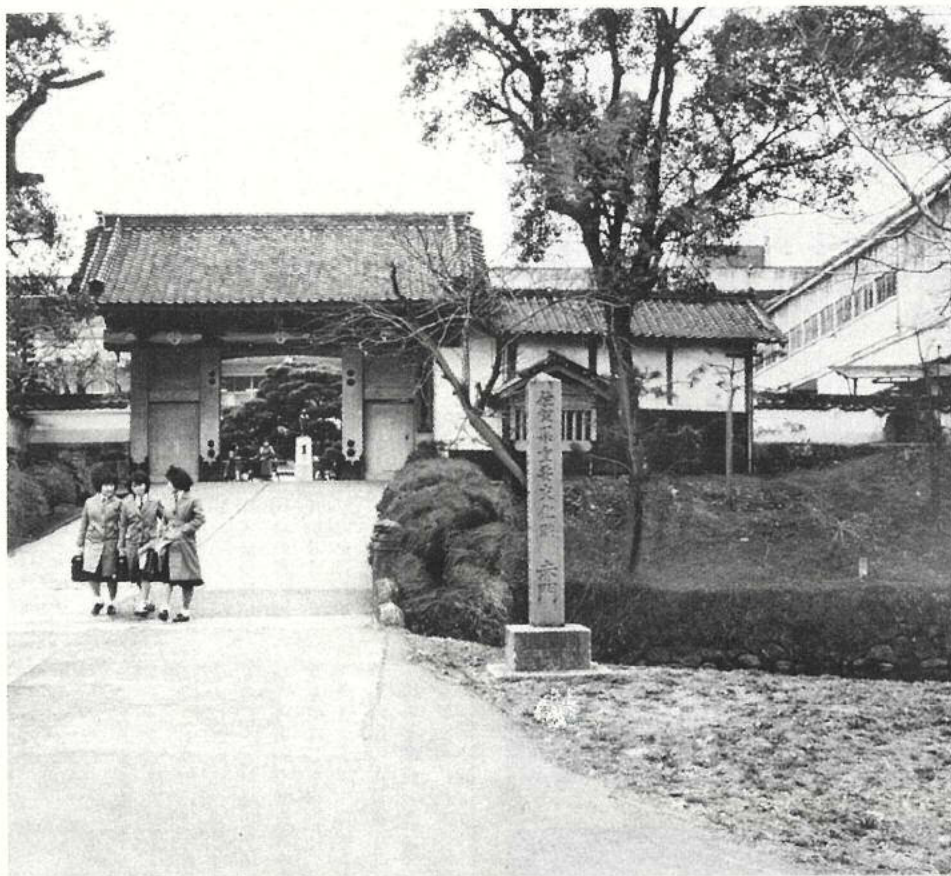




むつごろ



(写真 佐賀県重要文化財の鹿島高校「赤門」)

4

会報 むつごろ

昭和58年6月1日 発行
 福岡市佐賀県人会
 (発行責任者 溝上 嘉幸)
 福岡市中央区天神4丁目1-6
 昭和セントラルビル内(〒810)
 ☎ 092-761-8253
 制作 (有)タナカ製本印刷所
 ☎ 092-441-2552

竹内通教市長は、昭和二十一年九月、旧制東大法学部を卒業

やきものとフルーツの里
個性と調和ある街づくり

ふるさとの首長



伊万里市 市長（第三代）
竹内通教 さん

伊万里市の助役二期、四十五年四月、市長に初当選（第三代）、いま四期目。ソフトで親しみやすい人柄です。

「オーロドイマリ」としての伝統産業都市、「ニューイマリ」としての技術集積都市が調和した個性ある街づくり」に取り組んでいます。

「やきものとフルーツの里」伊万里市は、福岡市から八〇、筑肥線の電化、二丈一浜玉バイパス開通により、ぐいんと近くなりました。また、ことし九州初の「休暇センター」（保養基地）、秘密の里大川内に「藩窯公園」が完成。これらを結ぶ基

幹林道、伊万里富士千本桜などの新名所も誕生。IC工場も立地し、ひと味違った特色ある伊万里市に発展しています。

室町時代から伝わり最もにぎわうのが「伊万里トントン祭り」（十月二十二日～二十四日）——「荒みこし」と「団じり」が壮烈な合戦絵巻を繰り広げ、日本三大ケンカ祭りのひとつとして有名です。

県人会にひとこと 夏の味覚のナシとブドウ狩り、秋はトントン祭り祭りの伊万里市に、ぜひおいでください。また、ロクロを回し、手づくりの焼き物も楽しいものです。

《営業品目》

交換機、電話機、ボタン電話等の販売並に設計施工保全
パーソナルコンピュータ、ファクシミリ並にワードプロセッサ等OA機器の販売

九州沖通信機株式会社

代表取締役会長 鐘ヶ江 猪之助（杵島郡白石町出身）
代表取締役社長 西山 勇（多久市多久町出身）

本社 福岡市中央区舞鶴2-2-3（サンライフ第2ビル）電話(092)712-2232(代)
営業所 佐賀市神野東3-1-37（宝ビル）電話(0952)31-6811(代)

皇太子ご夫妻の案内をする永倉名誉会長（左）



皇太子ご夫妻が九州エネルギー館にお立ち寄り

皇太子ご夫妻は、さる五月十四日、九州エネルギー館（中央区薬院四丁目）を訪れになり、永倉三郎・九州電力社長（佐賀県人会名誉会長）の案内をうけて、いろいろな発電の仕組みなどを興味深くご覧になりました。

同エネルギー館は、九州電力が、「電気をはじめ、さまざまなエネルギーについて、よく理解してもらおう」と、同社創立三十周年記念事業のひとつとして、昨年十一月三日に開館。展示内容は世界の最高水準というユニークなものです。

とくに、未来のエネルギー・

コーナーで、皇太子妃美智子さまは、子供たちにやさしく声をかけ、皇太子殿下とともに太陽熱発電模型「太陽熱追跡ゲーム」では、ボタンを押し、動かしてみんなで楽しそうにご様子でした。

皇太子ご夫妻は、福岡市で開催した「第六十回太平洋小児外科学会議」の開会式にご出席のためおいでになったものです。

このほか、福岡市立こども病院（中央区唐人町）、宗像大社（宗像郡玄海町）、県立少年自然の家「玄海の家」（同）などにお立ち寄りになりました。

「佐賀県人パワーをみせよう」

昭和58年 佐賀県人会新春懇親会



〔写真〕④楽しく話し合う永倉名誉会長、金子会長⑤にぎやかだった新春懇親会

元気な顔、あいさつもはずむ
「佐賀みやげ」も好評でした

福岡市佐賀県人会（金子宜嗣会長）は、さる二月二十六日に福岡市中央区大名二丁目「稚加栄」で恒例の「新春懇親会」を開催したところ、来賓を含めて約百五十人が出席し、お互いの近況、ふるさと佐賀や統一地方選挙などを話題に話がはずみ、盛況でした。

金子宜嗣会長は「福岡―佐賀は距離的にも近いし、交流も盛んです。これからも、この県人会を軸にして、お互いの交流やバックアップを図りましょう」とあいさつ。

一方で、永倉三郎名誉会長が「佐賀県人は、福岡の政界でも根強い勢力を誇っています。これからは、みんなで力を合わせて佐賀県人会を発展させましょう」と独特のユーモラスな話しぶりで、会場をわかせました。

このあと、なごやかな懇親パーティー。来賓のチーフスビーチ、日本舞踊、のど自慢もあり大にぎわい。「私はこういうものです。お見知りおきください」と名刺やサカズキの交歓風景も盛んでした。

来賓チーフスビーチは、佐賀県選出の古賀重四郎・大坪健一郎参院議員、愛野興一郎（代理）衆院議員、地元福岡県選出の

山崎拓衆院議員（代理）、篠田栄太郎・田中久也福岡県議、南原勇一郎・古賀輝昭・宮副博昭福岡市議などのひとたち。日常活動を報告し、「元気にがんばってまいります。これからもご支援ください」と話していました。

今回は、閉会のあとで、佐賀県の味覚や特産品のおみやげのプレゼントも登場。「ホホウ。これはうれしい」とよろこばれていました。

なお会場ですが、会員の増加によって、やむなく、これまでの「右近」（博多区中洲一丁目）から変更いたしました。



元気に活躍する浦田浩子さん

活躍する佐賀県人たち

ノート、推理小説も大好き

トヨタオート福岡 浦田浩子さん(21)

生まれは佐賀県唐津市西新町。唐津東高校、福岡女学院短大(英文科)を卒業。この春、

学校推薦をうけて「トヨタオート福岡」(博多区駅南六丁目)に新入社員。いま、本社横にある福岡中古車センターで張り切って仕事に取り組んでいます。

入社時の動機——「女の子は、福岡市に就職しようとする、ほとんどの会社は自宅通勤が条件ですが、ウチの会社はそんな条件がなかったの、入社希望を決めました。」

身長一六五センチ。スリムな美人色白で、赤いベストスーツのユニホームがよく似合っています。クルマ——「大好きですがまだ運転免許がありません。交通事故が恐ろしい、心配なので……」。心優しいところがあるが、ええ。

もし、クルマのご用があらうのときは、浦田さんなどいかがでしょう。

趣味は、レコード(ニューミュージック)や推理小説を読むこと、好きな作家はアガサ・クリステイ、赤川次郎、だそうです。「恋人は、残念ですが、いません」

博多区上牟田の同社独身寮に住んでいます。

有料駐車場及び貸ビル業

鳩文堂不動産株式会社

取締役社長 草場 只 四

本 社
福岡市中央区長浜2丁目5番213号
(TEL 741-1300)
ミナトパーキング
福岡市中央区長浜2丁目34番1号
ビルパーキング
福岡市中央区渡辺通り5丁目24番1~2

佐賀県知事

香月 熊雄 67無所属 再
佐賀県杵島郡白石町の出身。
鹿児島高等農林を卒業。昭和十



再選の香月熊雄佐賀県知事

一年県庁入り。農林部長、県農協中央会副会長、副知事を経て五十四年四月知事に初当選しました。

県政二期目の抱負は「県財政

四月統一地方選挙のハイライト——地元福岡県の知事には奥田八二氏(新)が決まり四期十六年ぶりに革新県政の登場。ふるさと佐賀県では香月熊雄氏(再)が大差をもって再選をしました——ことし「佐賀県政一〇〇年」にあたり、香月知事は第八〇代目にあたります。

福岡県議(福岡市各区)

(東区) 前田憲義(自再)▽
江頭慶典(県再)
▽東脊振村

福岡市議

(東区) 古賀輝昭(福再)▽

(中央区) 篠田栄太郎(自再)

(南区) 賀部諸富町出身

(西区) 田中久也(自再)▽

(博多区) 南原勇一郎(自再)

(城南区) 武藤英治(自新)

▽杵島郡江北町出身

(南区) 宮副博昭(自再)▽

▽佐賀市

佐賀県の町村長

佐賀県
(川副町) 副島静雄 77無再
(諸富町) 吉末豊作 77無再
(久保田町) 森 賢一 54無新
(神埼町) 永瀬万里 70無再
(脊振村) 庄 島 明 65無再
(三瀬村) 永瀬万里 70無再
(杵島町) 土井四郎 59無新
(福富町) 梶原卓馬 59無再
(大町町) 梶原卓馬 59無再
(三養基郡) 北御門功 59無再
(北茂安町) 青木順次 73無再
(有田町) 立部重男 69無再
(西有田町) 岩宗正長 66無再
(浜玉町) 吉田健三 51無新
(鎮西町) 大渡鉄郎 63無再
(嬉野町) 大渡鉄郎 63無再

エレクトロニクス時代の先端技術を追求め、独創的な製品開発に挑む。

ニシム電子工業株式会社

代表取締役社長 中 溝 剛 次 / 電子計算部長 西 岡 正 義
(小城町出身) (佐賀市出身)

事業所 本社 〒810 福岡市中央区渡辺通り2-1-82 電気ビル
Tel (092) 761-0636

佐賀工場/佐賀県神埼郡三田川町
営業所/東京、福岡、北九州、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島
出張所/玄海、川内

事業内容

1. 電子通信機器、電気機器および医療電子機器の製造販売
2. 電気通信工事の調査設計・施工
3. 電子計算機関連業務

平安時代の天曆年間(947-956)、綾部郷の一角では、ひどい風水害、続く不作のために住民たちは深刻なキシンに苦しんでいました。

この悲惨な姿をみた脊振千坊にいた若い沙門・隆信は、「法華経の功徳により、災いを鎮めて、人びとを救おう」と、一万巻(満願)読経の悲願をたてて経文を背に山へ登りました。

美女の誘いに敗れ九千部

隆信沙門が万部経の悲願

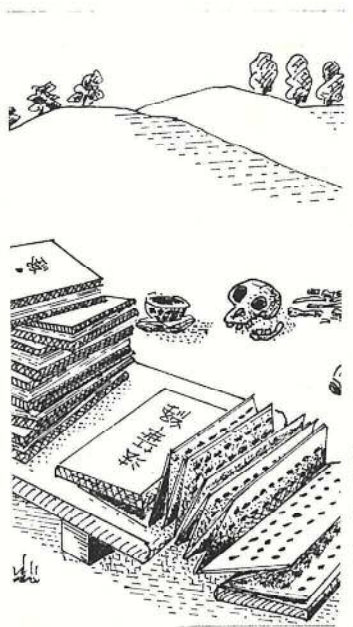
「九千部山」(高さ八四七〇)は鳥栖市の西側にそびえて福岡県とを区切り、古くから霊山とあがめられてきました。いま車窓から眺めると山頂のマイクローブ・アンテナが、カンザシを差したようです。今回はこの山の名前にまつわる民話をご紹介します。



災い消滅に万部経の悲願 白蛇の化身の誘惑に止む

鳥栖
中原

九千部山のおこり



山頂にたどり着いた隆信は、無念無想に読経し、目標の一万部に九千部となりました。

このころ、無人の山頂に美女が現われて、隆信の前に供えてある花を取りかえたり、身の回りの世話をしたり、ばん悩をそりました。

この美女。「実は、この山に棲む白蛇の化身だったのです」誘惑に耐えていた隆信も、ついに敗れて、読経は九千部に終わったといひます。

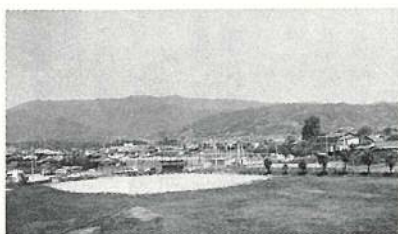
隆信が、いつまでも下山しな

いので、心配した村人たちが山頂にたどり着いたところ、姿は見えず、白骨が散乱しているだけだったといひます。このあと隆信をしのんで、「九千部山」と呼ぶようになったといひます

九千部に異説もあつた

この民話についてくわしい地元鳥栖市の篠原真・市立図書館長の解説によりますと、「九千部山の伝説は、ほかにもある」といひます。

それによると、この山の南二



鳥栖市役所から九千部山 (中央)

四〇)を地元では、「中原の九千部」というそうです。

「風の道筋(ウインド・ギャップ)」になっていて、昔は、お天気を占うところではなかったか」といひます。

お天気占い所だつたのか

「九千部山」西側にある「綾部神社」(三養基郡中原町)では、高い木の頂上に「布旗」を上げ、気象や農作物の豊凶を占う「旗揚げ神事」が、いまも続いています。

「これも、かつては九千部山や石谷山に掲げられていて、周辺の村人たちの『お天気占い』に役立っていたのが起源ではないだろうか」という見方もあるようです。



徳 永 寒 灯

春 浅 く

青雲の面影もなく著ぶくれて
春浅し炭火崩るゝひそけさに
白魚ののぼる頃かもふるさとは
卒然と老の郷愁炭火つぐ
鳥雲に矢も盾もなき里ごころ

筑紫山脈では脊振山(高さ一〇五五〇)が最も高く、二番目が天山(同一〇四六〇)である。天山の東斜面を源とする荒谷

童のころ

佐賀県人会副会長

吉田

正勝さん



吉田 正勝 副会長

八人の兄弟があり、私は七番目。明治四十四年、祇園社の下流吉田地区に生まれた。計画家族の当節では此の世に存在しなかった人間である。

小学校に入学前のこと、近所の小父さんに手を引かれたり、抱かれたりして、第一次大戦の青島(チンタオ)陥落祝勝会に小学校まで連れて行かれた。

電灯がついたのも、このころで、石油ランプより格段に明るく畳の目の汚れが目立つ——と母が言っていたことを覚えている。

不思議だつた児童数

教室を拡げて講堂に

一年一四年までの担任は池田先生であつた。

近衛騎兵を特務曹長(准士官)で退役されたそう、新年の祝賀式、紀元節の式には、助骨のついた上着、羽根のついた帽子の礼装で出席されたが、珍ら



いまの岩松小学校

しくて立派だつた。

式といえば学校には講堂がなかった。式の前日の午後は授業が取り止めになり、教室間の板仕切りを外して四教室を打ちぬき、教壇は子供が蟻(アリ)のように取り付き掛け声もろともに片側に押しやり演壇とする式場設営は大変おもしろかつた。

しかし隣りの小城町松岡小学校には講堂があり、上級生は袴(はかま)を着けて登校していた

戸の寒村——岩松村(現・小城郡小城町岩松地区)が私の生地である。

ので、なんとなく引け目を感じていた。

後年、八代市長の岩尾氏に会ったとき、この話をしたら八代上流の坂本小学校でも同様であつたことを話され、なんとなく意気投合した。

池田先生の姿に感動

ある年の暴風のとき、荒谷川の水嵩(かさ)がどんどん増えて、学校前の通路護岸の石垣(かき)が危くなつた。緊急避難に備えて授業は休みになり、ワイワイ騒いでいた。ふと外を見ると、先生たちのうち最年長で好々爺(や)の池田先生が、禪(ふんどし)一貫の裸姿になり加勢の村人たちを指揮。ポプラの木を切り倒し、これに縄をつけて石垣にたらし、水制防御の大活躍をされていた。

担任の先生の活躍ぶりにうれしくなつて、応援のつもりで練名(あだな)を斉唱し、囀(は)や)したのだが、後でもおしかりはなかつた。このとき池田先生の活躍に勇者の姿を見た思いであつた。

感銘をうけた先生、あふる友情の忠告をうけた友達もたくさんある。師恩、友情の有難さが古希を超えて一段と身にしみるこのころである。(原文「大分共同火力社長、小城町出身」)

旅行プランのコンサルタント

国内・海外 貸切バス・ホテル・旅館・航空券
予約 手配



九州メトロ観光株式会社

〒815 福岡市南区皿山四丁目1-27 電話 福岡(561) 8216番

と満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

百歳を迎えた佐賀県——明治十六年（1883）五月九日に長崎県から分離独立して、こ

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・



とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・

とし満一〇〇年になります。
明治四年、「廃藩置県」のとき、いまの佐賀県域には佐賀・



エミーと階段を下りる小松さん

県境を超えて愛の盲導犬

相知町 小松 栄さんに

「九州盲導犬協会」（福岡市）が、佐賀県東松浦郡相知町伊岐佐、マッサージ師小松栄さん（四七）に盲導犬「エミー」を無償貸与しました。この経費は「福岡ライオンズ・クラブ」（福岡市）の県境を超えた善意によるもので、小松さんは県外貸与の適用第1号です。

小松さんは昭和四十四年夏、伊万里市の炭鉱に働いていてとき、マイト事故のため両眼を失明。このあと佐賀県立盲学校（



九州盲導犬協会では「佐賀県でも、みんなの善意によって盲導犬をふやしてほしい」とお願いをしています。

県庁に初の女性課長
碓ミワ子さんが昇格

佐賀県庁に四月一日付で、事務部門初の女性課長——県消費生活センター所長碓ミワ子さん（五七）前青少年婦人課長補佐Ⅱが誕生しました。

碓さんは、病気のために福岡女子専門学校（現・福岡女子大）を中退。昭和二十二年県庁入り。この間、四十五年初の女性係長、さらに初の女性課長補佐Ⅱは第一号。

五年間かけ、音波調査、ボーリング調査（深さ八百五十メートル）を実施。石炭資源の分布や埋蔵量など確認します。

有明海域で、このような本格的な石炭資源調査は初めてといふことだ。

共同開発機構は、政府と民間の共同出資。財団法人です。

この調査はポスト石油対策として、対象地域は陸上に北海道三カ所。海上が有明海と西彼杵半島沖（長崎県）の五地域。

調査区域は東西四十・南北十六・六十平方メートル。川副町沖は第一号。

通産省外郭団体「総合開発機構」は、有明海底の石炭資源開発調査のために、佐賀県佐賀郡川副町沖でボーリング調査に着手しました。これは五年計画です。

有明海底にボーリング
川副町沖 石炭埋蔵調べ

県庁の女子職員は六百八十人（看護婦を除く）。ざっと全職員の四分の一です。同じ人事異動で、女性の課長補佐二人、係長十二人が生れました。

初めの女性課長の抱負は「責任が重い。しつかり頑張りたい」と意欲いっぱい。

県庁の女子職員は六百八十人（看護婦を除く）。ざっと全職員の四分の一です。同じ人事異動で、女性の課長補佐二人、係長十二人が生れました。

「日本農業賞」の栄冠

下大町機械利用組合

佐賀県杵島郡下大町、上大町機械利用組合（古賀勇八代表・六〇戸）が、第十二回日本農業賞（全国農協中央会など主催）全国審査で、営農集団の部「日本農業賞」を受賞しました。県内からは初めてです。

同賞は、全国農家のうち経営・技術に、模範や啓発する個人や生産組織に贈るものです。

上大町機械利用組合は四十六年にスタート。専業農家率三八％（県平均一四％）。一戸平均

有明海ヘドロ浄化作戦
県の泥上車耕起テスト

県内の有明海干潟面積は約一万亩。日本一を誇る「佐賀のり」、サルボウ、カキなどの養殖漁業も盛んです。

ところが、この十数年間、台風の影響による自然かはん作

す。地力向上にも熱心であり、農地利用度も第二種兼業農家からの期間借地もあわせて一八五％の高率ぶり。

五十六年産米は一〇〇収量五百八〇。（県平均五百二十一）。

品質も上位等級率一〇〇％を誇っています。



使った泥上車

用を受けていないので、人工的に海底のヘドロをかきまぜて浄化する作戦です。

課題は、ヘドロの軟弱さです。このため泥上車は、キャタピラが幅広く、フロートも取り付け

に美しい花を咲かせます。入出は五万人を見込み、五回目です。どちらも佐賀市の夏の名物エ

佐賀の銀天夜市

つり広場、市民おどり大会と各イベントを展開。県庁前お堀端では、復活「花火大会」が、夜空

「沖ノ島」は、佐賀県杵島市の沖五、の有明海にあり、男島と女島の二つの岩礁です。干潮

二十日、有明海沿岸では、「五穀豊作と海上安全」を祈って、若者たちが漁船に乗り、「沖ノ島」まわりをします。

島では、カネや太鼓、笛を鳴らし、「浮立合戦」もにぎやかです。海面を遠くまでハヤシの音がわたってゆきます。

お知らせ この紙面の記事や写真は、佐賀新聞社の提供により、掲載いたしました。（広報委）

サガテレビ

おかげさまで
サガテレビは15周年

あなたの健康

●毎週月・金 PM6:35~
●毎週日曜日 AM8:30~

佐賀県人民議大会

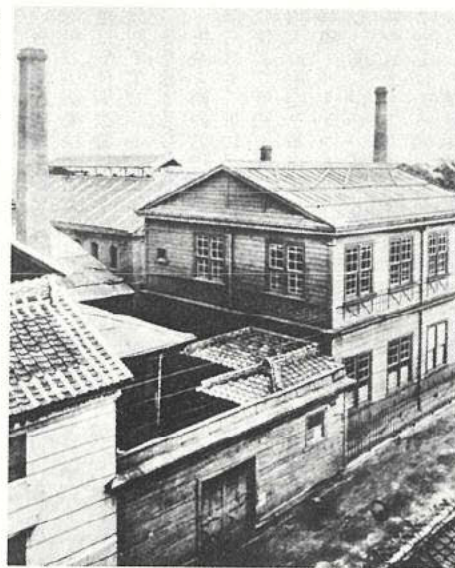
●毎月最終日曜 PM3:00~

東公園の銅像物語り

①

建立競争になった二つの銅像
製作は同じ佐賀市の谷口鉄工所

中央区今泉二丁目 武内 良次さん



当時の谷口鉄工所

繰り出しました。

鑄造は同じところ

原型製作は別だった、鑄造所は同じになりました。

亀山上皇側は、初めから谷口鉄工所（当時・谷口鉄工場、佐賀市長瀬町）。日蓮上人側は、地元を考えていたが、谷口一家が屋敷内に日蓮上人堂をつくり、毎朝、家人がそろって参拝。このあとでないと食事をしないという熱心な信徒であることを知り、谷口鉄工所に発注することにした。

本格的に始まった

明治二十三年十月二十一日、日蓮上人銅像の建立計画が本決まり。勝立寺（中央区天神四丁目）に創立事務所を置き、この日から三日間、盛大な法要が営まれて、この間、信徒から寄付金八百円が集まり、銅像の材料に婦人たちが大切にしていた銅鏡千枚以上が届けられました。銅鏡は、このあとも全国各地から送られてきて数万枚にもなり、明治天皇ご生母「中山の局」も、菊の紋章入り大鏡、副鏡の二枚をご寄進になりました。

松尾建設株式会社

取締役社長 松尾 幹夫

本社 佐賀市多布施一丁目4番27号 〒840 電話（佐賀）0952(24)1181
支店 東京・大阪・広島・福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島
営業所 神戸・下関・北九州・久留米・唐津・佐世保・沖縄

明治21年に建立構想

銅像の建立構想は、明治二十一年（1888）、湯地丈雄、警部長（現・福岡県警本部長）が、「東公園に元寇記念碑を建てようではないか」とい出し、安場保和知事も乗り気になり、すぐ発起人会もできました。地元の日蓮宗寺院でも、宗祖日蓮上人と元寇の関係もあって

全面協力を打ち出したが、他宗派とのトラブルで、独自に日蓮上人銅像を建てることになりました。銅像について果敢は、当初、侵襲してきた元の大軍勢に挑んだ鎌倉武士の勇姿を計画していたが、「敵国降伏」を祈願された亀山上皇に変更いたしました。ここで、亀山上皇と日蓮上人の銅像づくりの競争が始まりました。

原型製作は別べつ

亀山上皇側は、彫刻家の山崎朝雲・東京美術学校教授（福岡県出身）に原型制作を依頼し、建設工事には福岡市民の労力奉仕が決まりました。日蓮上人側は、同じ竹内久一・同校教授を選び、「負けてたまるか」とばかり、日蓮宗信徒が建設工事の奉仕作業にドット

新会員ご紹介

（敬称略・氏名、連絡先、電話番号、職業、出身地の順）

（相談役）

松尾 文司

▽共栄製作所▽白石

町

伊藤 博男

（イの部）

▽自営業▽唐津市

北川 勝次

（キの部）

▽木曾通産▽佐賀郡川

副町

西津 茂美

（サの部）

▽福岡市教育委員会

▽神埼郡三田川町

茂田 長俊

（シの部）

田産業▽唐津市

白川 秀嗣

▽飯

所▽武雄市

（ソの部）

早田 明由

（タの部）

田中 正人

▽岩田屋▽佐賀市

竹田 昌弘

▽三井建設九州支

店▽伊万里市

寺田 惣一

▽世紀東急工業

（テの部）

野方 順吉

▽天神野方一茶園▽

佐賀市

（マの部）

前田 敏行

▽印刷のマエダ▽伊万

里市

真崎 光男

▽マルキョーストア▽

佐賀市

増田 稔

4▽増田内科小児科医院▽武

雄市

広告をご利用ください 佐賀県

人会の会報「むつごろ」には広

告スペースがあります。いろい

ろご利用ください。

広告スペース、一回掲載料金

はつぎの通りです。

▽一段分幅十五センチ高さ四

センチ以内（二万円）

▽新入会員を歓迎します 福岡市

佐賀県人会は、「佐賀もん」

の輪をあげ、組織充実を目指し

新入会員を募集しています。

福岡都市圏は人口約百二十万

人。このうち佐賀県人は二世も

含めて約九万人。他県出身で、

最大の「県人パワー」です。

原稿（作品）を募集しています

佐賀県人会の会報「むつごろ

」は、会員のみなさんたちの相

互交流の促進を図る意味で、い

ろいろの原稿や作品の投稿を歓迎

しています。

創作、随想、紀行文、釣りの

自慢話、短歌、俳句、レジャー

表紙・鹿島城の赤門 いま鹿島

市・鹿島高校の正門。県重要文

化財に指定されています。

鹿島鍋島藩（二万石）居城は

かつて北鹿島にあり平城のため

常襲被害に悩み、九代藩主直算

（つね）のとき、幕府の許可を

うけて文化四年（1807）現

在地に完成しました。

赤門は、切妻屋根、檼瓦ぶき、

片番つぎ。丹塗り。文化五年

（1808）の棟札があり、「飾

り金具は少ないが木組みが雄大

小藩の城門としては堂々たるも

のだ」と折り紙つぎです。

赤門は、東大の赤門のように

ご連絡ください。広告掲載位置

は事務局におまかせください。

問い合わせ、申し込み先は千

八〇福岡市中央区天神四丁目

一六、昭和セントラルビル、佐

賀県人会事務局。電092・7

61・8253辻、波多まで。

氏名、生年月日、住所、勤務

先、電話番号、出身地を記入、

千八〇福岡市中央区天神四丁

目一六、昭和セントラルビル

佐賀県人会事務局。電092・

761・8253にお問い合わ

せください。

投稿いただくときには、作品

のテーマ、あなたの住所・氏名

、年齢、職業や趣味を明記して

千八〇福岡市中央区天神四丁

目一六、昭和セントラルビル、

佐賀県人会事務局あて、お送り

新年度の活動方針を提案 佐賀県人会の新年度総会

6月18日 は か た 会 館
午後1時

福岡市佐賀県人会（金子宜嗣会長）は、6月18日午後1時から「はかた会館」（中央区薬院4丁目）で、昭和58年度定期総会を開催し、新しい活動方針を話し合います。ぜひ、全員ご参集ください。

議事は、金子宜嗣会長あいさつ、佐賀県人会の昭和57年度活動実績と会計決算報告、本年度運営計画と予算案な

どを提案、審議いたします。

このあと、恒例の懇親パーティーにうつり、楽しいアトラクションも予定されています。ふるさとを同じくする仲間たちと、励ましあい、思い出話に愉快なひとときをすごしましょう。

会費は1人3千円、夫婦5千円。お申し込みは、早めに佐賀県人会事務局まで。おまちしています。

佐賀県人会昭和58年度収支予算(案)

自 昭和58年4月1日
至 昭和59年3月31日

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金	865,846 ^円	通信印刷費	300,000 ^円
維持会費 (役員)	210,000	会 議 費	250,000
維持会費 (相談役)	340,000	機 関 誌 発 行 費	800,000
維持会費 (維持会員)	1,125,000	慶 弔 費	150,000
協賛広告料	400,000	研 修 会 費	200,000
預金利息	20,000	年次総会 補 助 費	800,000
		予 備 費	460,846
合 計	2,960,846	合 計	2,960,846

佐賀県人会昭和57年度会計会計報告

自 昭和57年4月1日
至 昭和58年3月31日

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金	426,309 ^円	通信印刷費	279,700 ^円
維持会費 (役員)	215,000	会 議 費	238,627
維持会費 (相談役)	340,000	機関誌発行費	750,000
維持会費 (維持会員)	1,035,000	慶 弔 費	105,000
協賛広告料	405,000	為替手数料	12,970
預金利息	18,185	事務用品費	33,030
総 会 特 別 会 費	892,000	総 会 費 用	1,052,061
新春懇親会 特 別 会 費	1,085,000	新 春 懇 親 会 費 用	1,079,260
合 計 (A)	4,416,494	合 計 (B)	3,550,648
(A) - (B) 差引剰余金	865,846		

(繰越金内訳)

定期預金 700,000円
普通預金 118,186円
貯 金 局 1,660円
現 金 46,000円